

平素よりHA8000-ie/NetStorage200シリーズ(Windows Storage Server 2003)をご使用いただき、まことにありがとうございます。
 Windows Server 2003 service pack1(以下、SP1と略す)では大幅な変更が加えられており、HA8000-ie/NetStorage200シリーズに、SP1を適用した場合、およびSP1クライアントをご使用していた場合にいくつかの仕様変更がございます。
 適用になる場合は、下記仕様変更に十分留意して運用いただきますようお願いいたします。
 なお、クライアントにはservice packを単体で適用した状態で動作確認を行なっております。
 また、お客様の環境によっては本ドキュメントに記載されていない問題が発生する場合がございます。
 導入する場合は、事前に動作検証を行なって頂くようお願い申し上げます。

HA8000-ie/NetStorage200シリーズ(Windows Storage Server 2003)上で動作するソフトウェアオプションによっては、現在未対応のものや、制限事項があるものがあります。
 そのため、ご使用のソフトウェアオプションがSP1に対応しているかを必ず確認のうえ、適用して頂くようお願いいたします。

HA8000-ie/NetStorage200シリーズに Windows Server 2003 service pack1を適用した 場合の注意事項

概要

HA8000-ie/NetStorage200シリーズに対して、Windows Server 2003 service pack 1を適用した際の動作確認結果について説明いたします。

対象製品/形名

HA8000-ie/NetStorage260: GJYNS2R9-ELNN1N0, GJYNS26B-HRNN3N0
 HA8000-ie/NetStorage240: GJYNS249-GPNN1N0, GJYNS24A-GPNN1N0
 HA8000-ie/NetStorage220: GJYNS229-FJNN1N0, GJYNS229-FMNN1N0
 GJYNS22A-FMNN1N0, GJYNS22A-FSNN1N0, GJYNS22A-FJNN1N0

項番	発生条件	現象	対応策
1	Windowsファイアウォール有効状態でWeb管理画面へアクセス	Windowsファイアウォール機能を有効にしている場合、Web管理画面へのリモートアクセスに失敗する。	以下の設定を行うことでWeb管理画面へのリモートアクセスが可能となる。 (1)[スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォール]を起動する。 (2)[例外]タブをクリックし、[ポートの追加]をクリックする。 (3)環境に合わせて以下のポートを追加する。 ----- 名 前 : ポート番号 : プロトコル ----- WebUI (HTTPS) : 8098 : TCP WebUI (HTTP) : 8099 : TDP ----- WebUI(HTTPS)のポート番号は、NASに設定されている暗号化された(SSL)アクセス用のポート番号を指定します。 (工場出荷時設定では、[8098]に設定されています) WebUI(HTTP)のポート番号は、NASに設定されている暗号化されていないアクセス用のポート番号を指定します。 (工場出荷時設定では、[8099]に設定されています) (4)[OK]をクリックし、ポートの追加を閉じる。 (6)[OK]をクリックし、Windowsファイアウォールを閉じる。
2	Windowsファイアウォール有効状態でCIFS共有へアクセス	Windowsファイアウォール機能を有効にしている場合、CIFS共有へのリモートアクセスに失敗する場合があります。	以下の設定を行うことでCIFS共有へのリモートアクセスが可能となる。 (1)[スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォール]を起動する。 (2)[例外]タブをクリックし、[ファイルとプリンタの共有]にチェックをつける。

項番	発生条件	現象	対応策																																																
3	Windowsファイアウォール有効状態でその他共有へアクセス	Windowsファイアウォール機能を有効にしている場合、各種プロトコル(NFS, FTP, HTTP, HTTPS, AFPなど)を使用した共有へのリモートアクセスに失敗する。	<p>以下の設定を行うことで共有へのリモートアクセスが可能となる。</p> <p>(1)[スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォール]を起動する。</p> <p>(2)[例外]タブをクリックし、[ポートの追加]をクリックする。</p> <p>(3)各種プロトコル用のポートを追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 前</th> <th>ポ ー ト 番 号</th> <th>プ ロ ト コ ル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>NFS(Portmapper)</td><td>111</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>NFS(Portmapper)</td><td>111</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>NFS (Status)</td><td>1039</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>NFS (Status)</td><td>1039</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>NFS(Nlockmgr)</td><td>1047</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>NFS(Nlockmgr)</td><td>1047</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>NFS(Mountd)</td><td>1048</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>NFS(Mountd)</td><td>1048</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>NFS(Server)</td><td>2049</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>NFS(Server)</td><td>2049</td><td>UDP</td></tr> <tr><td>FTP</td><td>20</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>FTP</td><td>21</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>HTTP</td><td>80</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>HTTPS</td><td>443</td><td>TCP</td></tr> <tr><td>AFP</td><td>548</td><td>TCP</td></tr> </tbody> </table> <p>ご使用の環境によっては、上記以外に必要なポートを [例外]に登録する必要がある場合があります。</p> <p>(4)[OK]をクリックし、ポートの追加を閉じる。</p> <p>(5)[OK]をクリックし、Windowsファイアウォールを閉じる。</p>	名 前	ポ ー ト 番 号	プ ロ ト コ ル	NFS(Portmapper)	111	TCP	NFS(Portmapper)	111	UDP	NFS (Status)	1039	TCP	NFS (Status)	1039	UDP	NFS(Nlockmgr)	1047	TCP	NFS(Nlockmgr)	1047	UDP	NFS(Mountd)	1048	TCP	NFS(Mountd)	1048	UDP	NFS(Server)	2049	TCP	NFS(Server)	2049	UDP	FTP	20	TCP	FTP	21	TCP	HTTP	80	TCP	HTTPS	443	TCP	AFP	548	TCP
名 前	ポ ー ト 番 号	プ ロ ト コ ル																																																	
NFS(Portmapper)	111	TCP																																																	
NFS(Portmapper)	111	UDP																																																	
NFS (Status)	1039	TCP																																																	
NFS (Status)	1039	UDP																																																	
NFS(Nlockmgr)	1047	TCP																																																	
NFS(Nlockmgr)	1047	UDP																																																	
NFS(Mountd)	1048	TCP																																																	
NFS(Mountd)	1048	UDP																																																	
NFS(Server)	2049	TCP																																																	
NFS(Server)	2049	UDP																																																	
FTP	20	TCP																																																	
FTP	21	TCP																																																	
HTTP	80	TCP																																																	
HTTPS	443	TCP																																																	
AFP	548	TCP																																																	

HA8000-ie/NetStorage200シリーズに Windows Server 2003 service pack1を適用した クライアントからアクセスする場合の注意事項

概要

HA8000-ie/NetStorage200シリーズに対して、Windows Server 2003 service pack 1を適用したクライアントからアクセスした際の動作確認結果について説明いたします。

対象製品/形名

HA8000-ie/NetStorage260: GJYNS2R9-ELNN1N0, GJYNS26B-HRNN3N0

HA8000-ie/NetStorage240: GJYNS249-GPNN1N0, GJYNS24A-GPNN1N0

HA8000-ie/NetStorage220: GJYNS229-FJNN1N0, GJYNS229-FMNN1N0

GJYNS22A-FMNN1N0, GJYNS22A-FSNN1N0, GJYNS22A-FJNN1N0

項番	発生条件	現象	対応策
1	Windowsファイアウォール有効状態でディレクトリクォータの通知機能使用	Windowsファイアウォール機能を有効にしている場合、HA8000-ie/NetStorageから「重大な通知」、「警告の通知」が行えない。	クライアントに以下の設定を行うことで通知を受信可能となります。 (1)[スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォール]を起動する。 (2)[例外]タブをクリックし、[ファイルとプリンタの共有]を選択し、[編集]をクリックする。 (3)一覧の中から[TCP 139]と[UDP 137]にチェックをつける。 (4)[OK]をクリックし、サービスの編集を閉じる。 (5)[OK]をクリックし、Windowsファイアウォールを閉じる。
2	リモートデスクトップWeb版使用	Web管理画面のリモートデスクトップ機能を使用する際に、ポップアップブロックが発生する。	以下の設定を行ってください。 (1)ポップアップブロックの情報バーの右クリックメニューから、[ActiveXコントロールのインストール]をクリックする。 (2)[セキュリティの警告]ダイアログで、[インストールする]をクリックする。